



# 第 14 回 ITS シンポジウム 2016

## CALL FOR PAPERS

2016 年 11 月 10 日(木)～11 日(金)

北海道大学 クラーク会館

主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan / 北海道大学

協賛(予定): (社)計測自動制御学会, (社)交通工学研究会, (社)自動車技術会, (社)情報処理学会, (社)人工知能学会, (社)電気学会, (社)電子情報通信学会, (社)土木学会, (社)日本機械学会, 日本交通心理学会, (社)日本ロボット学会, 自動車技術会 ITS 部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会, 電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究専門委員会

### テーマ: フロンティアー北の大地から発信する ITS

近年、超大型台風や爆弾低気圧等極端な気象現象がたびたび発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。厳しい気象環境下で、より安全安心な交通環境を維持するために、ITSが果たすべき役割は極めて大きいものがあります。また、経済社会のグローバル化にいつそう拍車がかかり、インバウンドの急増やTPPの成立等めまぐるしく変わる状況変化の中で、産業や社会経済活動の変革が強く求められています。このような中、日本のフロンティア、北海道札幌市を会場として、厳しい気象状況下での安心安全な暮らしを支えるITS、産業・社会の次世代への発展に挑むITS、さらに、将来の社会を大きく変えようとしている自動運転について、企画セッションで議論を行います。北の大地での熱い議論を盛り上げていくよう多くの方々の論文投稿、ご参加を心よりお待ちしております。

#### 1. 投稿方法

投稿方法には「査読あり」「査読なし」があり、投稿時にいずれかを選んでいただきます。採用された論文は査読の有無が明記されます。

##### ●査読あり

(1) フルペーパー提出期限: 6月6日(月)

(2) 提出物: (1)フルペーパーおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語。A4 サイズで 6 ページ以内。指定の様式に従って、MS-Word ファイルまたは PDF ファイルで作成し、(1)と(2)を下記送付先へ電子メールでお送りください。

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡: 8月上旬

3名の査読者による「新規性・独自性」、「社会的/技術的有用性」、「説明の明確さ、論理性」、「内容充実度」の各項目の評価にもとづいて、プログラム委員会の判断により採否を決定いたします。

(4) 最終カメラレディ原稿の提出期限: 10月3日(月)

(5) 優秀論文賞と論文誌への推薦:

特に優れた論文には優秀論文賞が授与され、英文論文誌 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research に推薦されます。



## ●査読なし

(1) ショートアブストラクト提出期限: **7月25日(月)**

(2) 提出物: (1)アブストラクトおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語. 250 字程度のアブストラクトを論文投稿票の当該欄に記入し, (2)のみを期限までに下記送付先へ電子メールでお送りください.

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡: 8月上旬

(4) 最終カメラレディ原稿(フルペーパー)の提出期限: **10月3日(月)**

A4 サイズ 6 ページ以内のフルペーパーを指定の様式に従ってご提出いただきます.

なお, 投稿票ならびに論文フォーマットは, ITS Japan ウェブサイト

[http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/14th2016/cfp/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/14th2016/cfp/) に掲載します.

## 2. 参加登録料

・論文発表者参加登録料 (投稿料を含む): 一般 15,000 円/学生 8,000 円

・聴講のみの参加登録料: 一般会員 15,000 円/一般非会員 20,000 円/学生 3,000 円.....11月2日(水)まで  
一般会員 18,000 円/一般非会員 23,000 円/学生 3,000 円.....11月3日(木)より

## 3. 発表方法

一般投稿論文は査読の有無に関らず全て「対話型セッション」にて発表していただきます. 本セッションは, ポスターを作成していただき, ポスターの前で参加者と直接対話しながら議論を深めていただくものです. 後半の時間帯には, モデレータの司会による公開討議の時間を設け, さらに議論を深める工夫をする予定です. また数件のベストポスター賞を選考委員会によって選定・授与いたします.

## 4. 募集する論文の分野

ITSに関する基礎技術から応用技術まで, 幅広い分野の論文を募集します. 以下に代表的な分野を示します.

- |  |  |
|--|--|
| ◇ センサ技術<br>画像, レーザー, 誘導コイル, 超音波センサ,<br>およびこれらに基づく認識技術            | ◇ 交通制御<br>事象検出, 交通計測, 信号制御, 事故マネジメント           |
| ◇ 通信技術およびアプリケーション<br>光ビーコン, 電波 DSRC, ETC, ナビゲーション                | ◇ 交通計画<br>道路設計, 信号設計, 交通シミュレーション               |
| ◇ 車両制御と自動運転<br>AHS, ACC, レーンキープ, 自動運転, 自動運行バス                    | ◇ 環境改善<br>車両技術, 交通管理技術, 情報サービス, 社会実験           |
| ◇ 安全性向上とヒューマンインタフェース<br>自動運転, 運転支援, 歩行者支援, シミュレータ,<br>ドライバーセンシング | ◇ 都市工学<br>都市空間モデリング, 都市計画                      |
| ◇ 交通心理学<br>ドライバ心理, 歩行者心理, 消費者心理                                  | ◇ 交通政策, 交通経済<br>法令整備, TDM, ロードプライシング, プライバシー保護 |
| ◇ ITSシステムアーキテクチャ, ITSプラットフォーム                                    | ◇ 情報コンテンツ, その他アプリケーション                         |

## ■ 第14回 ITS シンポジウム 2016

実行委員長: 田村亨(北海道大学)

プログラム委員長: 高野伸栄(北海道大学)

プログラム委員: 山本強(北海道大学), 萩原亨(北海道大学), 川村秀憲(北海道大学), 内田賢悦(北海道大学), 松原仁(はこだて未来大学), 高橋清(北見工業大学), 川村武(北見工業大学), 有村幹治(室蘭工業大学), 菅沼直樹(金沢大学), 大石岳史(東京大学), 小木津武樹(群馬大学), 伊藤信之(北海道開発技術センター), 太田祐司(ドーコン) 杉本正和(デンソー北海道), 野口好一(エイ・ダブリュ・ソフトウェア), 福村景範(ダイナックス), 正岡久明(シー・イー・サービス), 松澤勝(寒地土木研究所)

## ■論文送付・問合せ先

ITS Japan 井出 晴子 (〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル)  
TEL 03-5777-1013 / FAX 03-3434-1755 / E-mail [h-ide@its-jp.org](mailto:h-ide@its-jp.org)

